

新たな電波の活用ビジョンに関する検討チーム
今後の進め方について

H21.12.25.
土居 範久

平成 22 年 春頃 中間とりまとめ

(イメージ)

ホワイトスペースの活用など電波利用モデルのとりまとめ

上記モデルについて、

- ・ 短期的に導入可能と考えられるもの
- ・ 中長期的な検討を要するもの

に分類し、想定される課題を抽出

→ 中間とりまとめに向けて、以下の作業を実施。

- ホワイトスペースなど「新たな電波の活用イメージ」の検討
→ 提案募集(12月中旬～1ヶ月程度)
構成員数名から活用イメージの事例について紹介(第2回、第3回)
- 電波の利用状況の現地調査(都市、地域におけるホワイトスペースの利用可能性の把握)
- 新たな無線技術の研究開発動向の把握
→ 構成員を中心に調査を実施
(第2回で担当者を決定、年明け～春頃までに実施)
- ホワイトスペースの活用など新たな電波利用へのニーズ、海外動向についての把握
→ 国際シンポジウム(例えば海外の政府機関や事業者を招聘)や公開ヒアリングを開催(2～3月頃)